



きれいな桜を思い描きながら肥料を施していました。

きれいな桜を願って

桜木内川堤桜並木施肥事業

5月26日、角館町の桜木内川堤を会場に、今年で34回目となる桜の施肥作業が行われ、角館中学校2年生と大曲支援学校せんぼく校中学部の生徒、約100人が参加しました。
生徒は各班に分かれ、桜の根元近くに掘られた深さ20cmほどの穴に肥料を施していました。作業を行った生徒は「根を踏まないように気をつけて作業をした。守っている人がいるからきれいに咲くと知った。来年もきれいに咲いてほしい」と話していました。



左から田中会長、佐藤選手の父・保さん、門脇市長、黒沢龍己仙北市議会議長。

夢の舞台で頑張れ！

《カヌー女子・東京オリンピックピック代表内定》

佐藤彩乃 選手に入浴剤を贈呈

写真提供：日本カヌー連盟



東京オリンピックピック開幕まであと65日と迫った5月19日、田沢湖神代出身でカヌー・スラローム女子カナディアンシングルに日本代表として内定している佐藤彩乃選手（秋田病理組織細胞診研究センター所属）を応援しようと、市役所角館庁舎で入浴剤の贈呈式が行われました。
この日、佐藤選手はオリンピックで実際に競技が行われるカヌー・スラロームセンター（東京都江戸川区）で合宿のため残念ながら出席できませんでしたが、お父さんの佐藤保さんと仙北市カヌー

協会の田中恒雄会長が出席。仙北市と仙北市議会から練習後の疲れを癒しリラックスしていただければと入浴剤が保さんにそれぞれ贈呈されました。
受け取った保さんは「たくさんの方々から応援の言葉をいただき、私たち家族も大変ありがたく思っている」と述べました。
また、今回の入浴剤贈呈に際して佐藤選手から「現段階でもコロナが広まりつつあるので、今後どのような動きになるのかは分かりません。それでも私は、どちらに動いて



写真提供：日本カヌー連盟

交通死亡事故ゼロ

仙北市が365日を達成



佐藤署長（右）から門脇市長（左）に伝達されました。

仙北市は令和2年5月25日から交通死亡事故ゼロを継続し、令和3年5月24日に365日を達成しました。

6月1日、市役所田沢湖庁舎で秋田県警察本部長の顕彰状の伝達式が行われ、佐藤正志仙北警察署長から門脇市長に授与されました。

佐藤署長は「交通死亡事故ゼロは市民の皆さまのご協力なくしては達成できない。今後、交通事故の加害者・被害者にならないように気をつけていただければ」と話しました。

次は、730日の達成が顕彰の節目になります。交通死亡事故ゼロ730日を目指して、より一層の交通安全を心がけましょう。

エンディングノートを ご活用ください



この度、仙北市と第一生命保険株式会社は、人生の終末期に備えて自身の希望を書き留めておく「大切な方への絆ノート（エンディングノート）」を協同により作成することになり、その締結式が5月26日、市役所角館庁舎で行われました。

これは、同社が自分の望みや思いをご家族などに伝えることができるようにとオリジナルで作成しているものです。仙北市では、お悔やみの届出をされるご遺族が、亡くなられた方がどのようなものを持ち、どのようなもの中加入しているか把握しておらず「今後の手続きで何をすればいいのかからなに」「どうしたらいいのかからなに」といった声があびたことがあることから、市民の方々にもこのエンディングノートを無償で利用していただけるようにと締結に至ったものです。

このエンディングノートは、自身の医療や介護の情報のほか、財産や葬儀の希望などを書き記してまとめることができる内容になっています。仙北市ホームページ（https://www.city.semboku.akita.jp/news_topics/whatsnew.php?id=2911）で配布しています。ぜひご活用いただき、このノートが家族や大切な方との絆を深めるきっかけになればと思います。



締結式に出席した第一生命保険秋田支社の木宮睦仁CS推進統括部長（左）、同社角館営業オフィスの菅原貴子オフィスマン（中央）、柏谷真一市民福祉部長（右）。